



もぎたて通信

令和7年10月14日
長崎市立茂木小学校
発行 校長 松尾伸章

ホームページアドレス www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

日本は季節変化が激しいといわれます。確かにその通りですが、その変化は、直線的ではなく、曲線的で、季節の移ろいはなだらかな形をとり、行きつ戻りつつしながら深まっています。

初秋から夜寒の候へ、秋雨から紅葉へと、しだいに秋が深まっていく今頃の季節は、移ろいが繊細で、ものさびしさがありながら、やさしく穏やかだと感じます。

「充実の秋」を全児童、全職員で満喫していきたいと思います。

「茂木小のあいさつをもりあげよう」

9月18日に第3回代表委員会が開かれました。茂木小学校の代表委員会は、オンライン形式で4・5・6年生全員が参加して行われます。運営委員会の子供たちが、クロムブックのmeetとキャンバを使って、話し合いを進めていきます。市内でも稀にみる進んだ代表委員会と言ってよいでしょう。子供たちは、オンラインでも戸惑うことなく上手に話し合いを進めています。（戸惑っているのは、校長だけかもしれません。）

代表委員会の流れは、おおかた次のような感じです。

- ①「柱1」学級の意見を出し合う（代表委員が、meetで発表）
- ②出された意見を、学級で検討（賛成・反対などの意見を班ごとにキャンバに付箋を使って入力）→学級で集約（代表委員が発表できるように準備）
- ③賛成・反対意見などを出し合う（代表委員が、meetで発表）
- ④フォームで投票
- ⑤（集計中に）「柱2」運営委員会からのお知らせ
- ⑥結果発表
- ⑦先生方からのお話

第3回代表委員会の議題は、「茂木小のあいさつをもりあげよう」でした。話し合いの結果、次のように決まりました。

○内容（話し合いの柱）

【柱1】あいさつレベルをアップしよう。

（茂木小のあいさつをもっと良くするためにはどうすればよいか）

○決まったこと

あいさつデー（3日間）をつくる。

あいさつデーの期間に良いあいさつ（1・2・さん あいさつ など）をした人は、シールを先生からもらえる。もらったシールは、学級前の表にはっていく。

あいさつ名人と名人クラスを表彰する

小シールを多くもらったクラスと、大シールを多くもらった人を紹介し、表彰する。

あいさつデーの後も、良いあいさつを続ける。

本物は続きます。続くのが本物です。

10月6日（月）～8日（水）が、「あいさつデー」でした。代表委員会が開かれた後すぐに子供たちのあいさつレベルはアップしていましたが、この「あいさつデー」でさらにレベルアップしました。どの子も進んであいさつをし、学校中が活気に満ち溢れました。やはり、あいさつの力はすごいです。たいへん心地よい学校の雰囲気がつくられました。子供たちの取組に花丸をあげたいと思います。大切なことは、決まったことの3つ目、「あいさつデーの後も、良いあいさつを続ける」です。子供たち一人一人の今後の成長を期待します。